

【基本情報】

教科	理科	学年	3年	教科書	改訂版 生物 (数研出版)
科目	生物	単位数 (年間予定コマ数)	4 (128)	副教材	セミナー生物 (第一学習社)
科目概要	第3編 生物の環境応答      第5章 動物の反応と行動      第6章 植物の環境応答 第4編 生物と環境      第7章 生物群集と生態系 第5編 生物の進化と系統      第8章 生命の起源と進化      第9章 生物の系統				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みを理解できるようになる。</li> <li>・生物の個体群と群集及び生態系の構造や変化の仕組みを理解することにより、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。</li> <li>・生物界の多様性と系統を理解することにより、進化についての考え方を身に付ける。</li> <li>・大学入学共通テストで全国平均を上回る学力をつける。(模試では平均偏差値55以上)</li> </ul>				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に教科書に沿って進む。</li> <li>・教科書の実験の内容の一部は実験を行う。実験後はレポートを提出すること。</li> <li>・板書中心の授業展開になるので板書した内容を全てノート等に写すこと。</li> </ul>				
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書とセミナー(問題集)は併用して使用するので、教科書で基本事項を理解し、セミナーで更に理解を深め、応用力をつけること。</li> <li>・教科書とノートを必ず用意すること。問題集を使用する場合は事前に連絡する。</li> <li>・定期的にノート提出を行う。板書した内容を全てノートに写すこと。</li> <li>・実験・観察に意欲的に参加し、必ず実験レポートを提出すること。またその際、提出期限を守ること。</li> <li>・実験のときなどの教室移動は休み時間のうちに行い、始業と同時に速やかに授業が行えるようにすること。</li> <li>・忘れ物がないようにすること。</li> </ul>				
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題集は、授業の進度に合わせて各自で解くようにすること。</li> </ul>				
備考					

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	生物や生物現象について関心や探求心を持ち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	20%	授業ワークシート、実験、観察時のレポート、小テスト、定期試験問題など、随時観点別評価項目を設定し、評価する。
B. 思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	30%	
C. 観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	20%	
D. 知識・理解	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。	30%	

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
第5章 動物の反応と行動							
1 ニューロンとその興奮	6	ニューロンについて	○	○	○		外界の刺激を受容し神経系を介して反応する仕組みを理解する。 刺激に対する反応としての動物の行動について理解する。
2 刺激の受容	5	刺激の受容について	○	○	○		
3 情報の統合	5	神経系について	○	○	○		
4 刺激への反応	8	効果器について	○	○	○		
5 動物の行動	8	生得的な行動、学習による行動について	○	○	○		
第6章 植物の環境応答							
1 植物の生活と環境応答	4	屈性と傾性について	○	○	○		植物が環境変化に反応する仕組みを理解する。
2 発芽の調節	7	発芽の調節について	○	○	○		
3 成長の調節	7	成長の調節について	○	○	○		
4 環境の変化に対する応答	7	・植物ホルモンについて ・刺激の受容と反応について	○	○	○		
5 花芽形成・結実の調節	7	植物の光に対する応答と花芽形成について	○	○	○		
第7章 生物群集と生態系							
1 個体群	6	個体群について	○	○	○		個体群とその変動について理解する。 生物群集の成り立ちについて理解する。 生態系における物質生産とエネルギー効率について理解する。 生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。
2 個体群内の個体間の関係	4	個体群内の関係について	○	○	○		
3 異種個体群間の関係	4	異種個体群間の関係について	○	○	○		
4 生物群集	4	生態系について	○	○	○		
5 生態系における物質生産	5	生態系の物質生産について	○	○	○		
6 生態系と生物多様性	4	生態系と生物多様性について	○	○	○		
第8章 生命の起源と進化							
1 生命の起源と初期の生物の変遷	5	生命の起源と生物の変遷について	○	○	○		生命の起源と生物進化の道筋について理解する。
2 多細胞生物の変遷	5		○	○	○		
3 進化のしくみ	7	進化の仕組みについて	○	○	○		
第9章 生物の系統							
1 生物の系統	4	生物の系統について	○	○	○		生物はその系統に基づいて分類できることを理解する
2 生物の多様性	7	生物の分類について	○	○	○		
共通テスト対策 (家庭学習期間)	9	過去問や予想問題の演習					